



# 現代

2017年4月8日(土)  
→6月25日(日)



# 版画の

# 展開

横尾忠則  
《第6回東京国際版画ビエンナーレ展》  
1968 オフセット、紙

和歌山県立近代美術館  
〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14  
TEL 073-436-8690 FAX 073-436-1337  
E-MAIL moma\_w@future.ocn.ne.jp WEB <http://www.momaw.jp/>

## 現代版画の展開

2017年4月8日(土)～6月25日(日)



1. 山本容子《To the park》1977 エッチング、紙



2. 木村秀樹《Pencil 2-2》1974 シルクスクリーン、紙

版画の特質は何でしょう？

まず第一に挙げられるのは、間接性です。版を介し、ある面から別の面にイメージを転移させるという版画固有のメカニズムは、複数の工程を経ることによってしか出来ない表現思考を生み出します。また第二に挙げられるのは、複数性でしょう。オリジナルとコピー（原型と複製）という価値観から離れ、複数のオリジナルの制作が可能となります。このことは作者と鑑賞者の関係にも影響します。

1950年代以降、駒井哲郎、棟方志功、浜口陽三らの版画作品がサンパウロ・ビエンナーレなど海外の美術展で相次いで入賞し、版画は現代美術の重要なジャンルとして日本でもあらたに注目されるようになりました。1957年には東京国際版画ビエンナーレ展が始まり、戦後の日本で初めて国際的な美術選抜展が開催されます。1960年代には大衆消費社会を背景にポップ・アートが美術シーンを席卷し、引用・複製されたイメージの表現に版画が多く使われました。そして1970年代になると、コンセプチュアル・アートなど先鋭的な現代美術の作家たちが版画の特質を積極的に表現手法に取り入れます。またその頃から現代版画を専門とするギャラリーやコレクターが増え、版画工房が

設立され、複数の版画雑誌が創刊されるなど、版画ブームと言われる社会現象まで起きました。

この展覧会では、そうした1950年代から70年代への展開を作品により回顧しつつ、当館が1985年から5回にわたって開催した和歌山版画ビエンナーレ展に入賞した国内作家の作品を見直します。和歌山版画ビエンナーレ展の特長は、版画の複数性にこだわらずモノタイプの応募を認めたことと、大きさを無制限としたことにより、従来の版画の概念を拡大させる方向に舵を切ったことだったといえるでしょう。

技術革新により、版画の概念がますます急速に変化していく現在、その現代性はどこに向かっていくのでしょうか。あらためて問い直す機会にしたいと思います。



3. 恩地孝四郎  
《フォルム No.14 グロテスク (II)》  
1952 マルチブロック、紙

### 関連事業

● フロアレクチャー（学芸員による展示解説）

5月4日(木・祝)、6月3日(土) 14:00から会場にて(要観覧券)

▶掲載用画像については、広報担当にお問合せ下さい。

※文字のせ、トリミング等のご遠慮下さい。



5. 浜口陽三  
《パリの屋根》  
1956 カラーメゾチント、紙

4. 小枝繁昭

- |    |    |    |
|----|----|----|
| a. | b. | c. |
| d. | e. | f. |
| g. | h. | i. |
- a. 《風の時 アイリス》  
2003 ラムダプリント、紙 個人蔵
  - b. 《風の時 アネモネ》  
2003 ラムダプリント、紙 個人蔵
  - c. 《風の時 ガーベラ》  
2003 ラムダプリント、紙 個人蔵
  - d. 《風の時 椿》  
2003 ラムダプリント、紙 個人蔵
  - e. 《風の時 チューリップ》  
2003 ラムダプリント、紙 個人蔵
  - f. 《風の時 シベリア》  
2003 ラムダプリント、紙 個人蔵
  - g. 《風の時 牡丹》  
2003 ラムダプリント、紙 個人蔵
  - h. 《風の時 紫陽花》  
2003 ラムダプリント、紙 個人蔵
  - i. 《風の時 向日葵》  
2003 ラムダプリント、紙 個人蔵

開催概要

会場 和歌山県立近代美術館 2階展示室 展示室C  
 主催 和歌山県立近代美術館  
 会期 2017年4月8日(土)～6月25日(日)  
 開館時間 9時30分～17時(入場は16時30分まで)  
 休館日 月曜日  
 観覧料 一般510(410)円、大学生300(250)円 ( )内は20名以上の団体料金  
 \* 高校生以下、65歳以上、障害者の方、県内に在学中の外国人留学生は無料  
 \* 第4土曜日(4月22日、5月27日、6月24日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

【同時期開催】

コレクション展 2017-春

特集展示 群像—交錯する声

【会期】開催中～5月7日(日)

【会場】1階展示室

コレクション展 2017-夏

特集展示 おはなしのなかへ

【会期】5月30日(火)～9月10日(日)

【会場】1階展示室

鈴木久雄 彫刻の速度 和歌山展

【会期】6月14日(水)～9月10日(日)

【会場】エントランスホール、ギャラリー、2階テラスなど

和歌山県立近代美術館

学芸担当：井上芳子 広報担当：島

〒640-8137 和歌山市吹上 1-4-14

TEL 073-436-8690 (代表)

FAX 073-436-1337

E-MAIL moma\_w@future.ocn.ne.jp

WEB <http://www.momaw.jp/>